

2024年10月1日

東京科学大学の研究データポリシー

東京科学大学（以下「本学」という。）は、科学に立脚して社会の発展に指導的役割を果たすことのできる市民を育成する。この理念のもとに必要な専門的知識を学生に習得させ、かつ人格の陶冶をなすとともに、理学、工学、医学、歯学、人文社会科学及びこれらの融合学術分野の理論と応用を研究し、その深奥を究めて科学と技術の水準を高めることを大学の目的とし、もって文化の進展に寄与し、地球上全ての構成員の福祉に貢献することをその使命として定めている（国立大学法人東京科学大学組織運営規則第2条第2項）。

この目的及び使命に基づき、本学における研究データの保存・管理及び利活用に関する基本方針を示した研究データポリシーを以下のとおり定める。

1. 研究データの定義

本ポリシーが対象とする「研究データ」とは、本学における研究活動において取得または生成された情報を指し、デジタルか否かを問わない。

2. 研究に携わる者の責務

2-1. 研究データの保存・管理

法令や関係する学内外の規則等を遵守し、研究データを適切に保存・管理する。

2-2. 研究データの利活用

自らが保存・管理する研究データについて、利活用を促進するよう努める。ただし、法令や関係する学内外の規則等で制限されるものを除く。

2-3. 方法

研究データの保存・管理方法及び利活用の方法を自ら決定できる。その際、研究データの機械可読性や相互運用性等に配慮する。

3. 大学の責務

本学は、研究データの保存・管理及び利活用を支援する環境の整備を推進する。